

<「さっぴまっり」のお知らせ>

日 8月28日(日)

時 13:30~15:00

- ・ セレモニー
歌「空を飛ぶはがき」
現役こども代表のメッセージ
OB・OGからのメッセージ
- ・ 献花
- ・ ミトモとおとむ共 現役OB・OGの交流の時間
楽しいゲームを考えています。
- ・ オマケの時間ーおしゃべりタイム
~18:00頃まで
部活帰りの中高生！寄こみて！

費用 献花 200円 (こどもにはおみやげのおかしがらきます)

「さっぴまっり」、て何?

さっぴが亡くなった時卒業した中学生から成人したOB・OG達がさっぴを偲んで大勢集ってくれました。その大きくなったこども達から「さっぴが亡くなって初めてささのはの大切さがわかった。友達との関係の大切さ、ささのはで経験したたくさん事が自分達の中で生きていること。このことを、今のこども達、これからの子ども達に伝えていくことが、さっぴにお返しすることだ」という声が上がりました。

そして、1年に1回8月に「さっぴまっり」としてOB・OGと現役の交流会を始めました。

※ぜひ参加して親交を深めてみましょう。出欠は8/24(水)までに知らせてください。

「さっぴ」、てだれ?

公設だったささのはクラブの時から指導員だった佐藤晴美さんです。公設の学童保育が廃止される時、「大丈夫、ささのはクラブはずっと続けるよ」と、保護者といっしょに立ち上げに関わって、合わせて18年間指導員をしていました。

2011年7月、くも膜下出血で倒れ、みんなが千羽鶴を折って回復を願っていた2週間後に急に亡くなりました。みんなと、いっしょに、いっしょに遊んだり、歌ったり踊ったりして、とても元気だったのに


テーマは

「過去から未来へ、ささのはクラブをみんなで作っていきこう」


今も、OB・OGのみなさん、保護者のみなさんは、いつもささのはクラブを心にかけてくれて、行事に参加してくれたり、遊びに来てくれたり、街で声をかけてくれたり、地域の中で見守ってくれる応援団です。

まだ飲食はできませんか? 3年ぶりに顔を合わせて、顔見知りなり。話したり、こども達はいっしょに遊んでみましょう!

夏休み報告 第2弾 種彦国際フェリス、今度は高学年中心だよーん!!




8月4日(木)、あいにくの大雨でしたが、4~6年生7クラス3年の、ちゃん・ちゃん・ちゃん。今日は初めてメイプルプール(T=250mを2コース)での教室です。初級コースに来た人たちは、入るが、「やま、い、足が着かないわ」と壁にしがみつきました。



そこはペララン中井コ-4「おじさんがせうたい手をはなさないから、まず、人パッから始めよう」ひとりず、ていねいにマンツーマンで教えるうちに、さんはおれはあはよと泳げるようになってしまいました。コ-4もうれしそうに「ほれ、この子見て! もう自分で泳げてる!」長年教えるもらってきた中井コ-4で健康面から正コ-4としては今年で最後です。しかし、「ボクは毎年1回たけど、このことだけに教えることが本当に大好きでね、楽しめたんです。料からもボランティアとしてぜひお手伝いさせて頂ければと思っています」とのお言葉を頂きました。うれしく、ありがたく思いました。いづれな方に支えてもらっている人ですね。また隣のコースでは、上級コ-4が「たいたい半分25mまでバタフライで行ったらそのまま泳ぎに変えて向こうまでね、はい、ゴー!!」などと指導。まるで部活みたい。何しろ50m一気に泳ぐんだから、くん せん さんの体力は本物です。スコイね。初級と反対側の中級は一番人数も多かったけれど、半分まで泳いでも25mあるのでひとりひとりゆったり、たぷり泳げました。息つきや背泳ぎや平泳ぎなど1日だけの教室だけど、楽しく実力がついたことと思います。


ママのご厚意で、雨の中、アイスを買って届けてくださったので恒例おやつも建物内で食べることもできました。キャンプ経験してから、「これくらい雨、平気!」とたくましくなったみなさん。帰りもスタスタと歩き、土が頼もしい高学年でした。6年生はあいさつの号令もおとできるように、高学年リーダーらしく、カッコ良かったです。



報告第3弾は次号で!!

<お知らせあれこれ>

●レトルトの日はどうするの?
ごはんは土のはで炊くので持って来なくて大丈夫。かわりに何かお好みのレトルト1パックを持ってきて下さい! お金湯でグウグウみんのはがきをまとめてあたためるのでマジックで名前を書いてきてね。たまにはこんな日があってもいいかも!



●外遊びやカンカン照りの道を歩く時はマスクをはずすことを勧めたいです!
異常に暑い今年の夏、お出かけの時や公園内で走りまわるときなど、マスクは熱中症になる危険があり、「はずしていいよ」と声かけてほしい。しかし、「せうたいにはほさない」と決めるとして、その後頭が痛くなってたりすることもある。強制はしていませんが、場面に応じて着脱の転おうちでも話しあってみて下さいね。

